

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和元年 第3回定例会)

質問順位	1 4番議員 大久保由美子	
質問事項1	図書館内の郷土資料コーナーと歴史民俗資料館について	
質問の要旨	<p>基山町立図書館は、平成28年4月に中央公園内に新たに新築開館して、昨年4月からは祝日開館も始まり、利用者から大変喜ばれている。8月には、来館者数50万人を超えた。</p> <p>多目的ホールでは様々なイベントも開催されており、平日は一般の方や土・日、長期休暇中などは学生たちの利用が多く見受けられる。</p> <p>そこで、図書館内に設置されている郷土資料コーナーや展示スペースを町内だけでなく、幅広く県内外の歴史・文化も学ぶ場として、様々な展示提供ができないか。</p> <p>また、昨年に旧基山町立図書館・歴史民俗資料館が私立保育園誘致に伴い取り壊された。資料館に保管された資料は分散され、庁舎地下室などに保管したままである。今後、貴重な資料の保存整備をふまえ、歴史民俗資料館の建設について質問する。</p>	
具体的な質問及び質問の相手	<p>(1) 郷土資料コーナー並びに展示スペースの設置目的は何か</p> <p>(2) 郷土資料コーナー、展示スペースの年間・月間企画や展示計画の情報公開はしているのか</p> <p>(3) 展示スペースで県や他市町の歴史民俗資料などを定期的に展示して、学びの場として広く活用できないか</p> <p>(4) 歴史的風致維持向上計画にきやまんもん文化遺産情報館(仮称)とあるが、歴史民俗資料館との違いは何か</p> <p>(5) 分散して保管している資料の保存状態の確認や定期的な整理点検はされているのか</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和元年 第3回定例会)

質問順位	1 4番議員 大久保由美子	
質問事項2	災害時の情報伝達に戸別受信機の取組を	
質問の要旨	<p>令和元年度の基山町の施策に2つの大きな柱を掲げられ、その一つが「安心と安全のまちづくり」である。</p> <p>そこで、防災の観点から質問する。</p> <p>去年は基山(きざん)や丸林地区などで大きな災害が発生した。</p> <p>そして、今年も7月21日から22日の大雨により、近隣の鳥栖市、みやき町などで被害が発生し、基山町も昨年のような大きな被害は免れたが、避難勧告の発令や町道の土砂災害、道路冠水などの被害が発生した。</p> <p>しかし、大雨や8月の台風8号、10号のように暴風雨により、窓や雨戸を閉めているので、町民の方より防災行政無線が聞こえないと言われる。そこで、平成28年12月の一般質問に引き続き再度、戸別受信機の設置を質問する。</p>	
具体的な質問及び質問の相手	<p>(1) 町の大雨警報や避難勧告の情報伝達手段の方法は</p> <p>(2) 防災行政無線の放送があっていることがわからない時の対応は</p> <p>(3) 佐賀県内で戸別受信機設置の市町数は</p> <p>(4) 普及促進に向けた財政支援措置の活用で、戸別受信機の設置ができるのでは</p> <p>(5) 高齢者世帯、高齢者ひとり暮らし、障がい者世帯などに補助制度で設置できないか</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和元年 第3回定例会)

質問順位	1 4番議員 大久保由美子	
質問事項3	住宅用火災警報器の設置普及と補助制度の取組を	
質問の要旨	住宅用火災警報器の設置を、平成23年6月からすべての住宅を対象に義務化された。住宅火災から命を守り、町民が安心安全に暮らせるために、住宅用火災警報器の設置普及と補助制度について質問する。	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 住宅用火災警報器の設置義務化により、これまでの取組と今後の課題は	町長
	(2) 町の住宅用火災警報器設置率は	町長
	(3) 住宅用火災警報器の電池寿命は約10年となっているが、電池の交換など維持管理の周知や啓発は	町長
	(4) 未設置世帯への設置普及の取組は	町長
	(5) 高齢者世帯や障がい者世帯に住宅用火災警報器設置への補助制度ができないか	町長